



所管課	担 当	担当者	電話番号
商工労働部情報産業課	情報産業担当	森 達哉	直通 058-272-8375 内線 3113

ドリームコアに「iPhone フロア」を設置 ～「GIFU・iPhone プロジェクト」本格展開へ～

県では、高機能スマートフォン「iPhone」(アイフォーン)の普及が世界的に急速な勢いで進んでいることに着目し、ソフトピアジャパンエリアを iPhone で活用されるアプリケーションの一大拠点として育成し、アプリケーション開発人材の集積・交流を図るため、「GIFU・iPhone プロジェクト」を展開しています。

このたび、その一環として、本日より、ソフトピアジャパン・ドリームコア内に「iPhone フロア」を設置することといたしました。iPhone のソフト開発に関連し、地方自治体がこうした人材集積の拠点を設けることは全国初の取組みです。

記

1 iPhone フロアの設置について

ソフトピアジャパン内にあるベンチャー支援施設ドリームコアの1階、2階を「iPhone フロア」として指定し、iPhone のソフト開発に携わるベンチャー企業等に魅力ある開発環境を提供。

iPhone フロアにおける3つのサービス

技術開発室の提供

iPhone アプリ開発を主とする企業又は個人等について、平成21年9月16日以降の入居申請分より、入居から3ヶ月間の家賃を免除。(指定管理者による減免)

入居保証金、共益費及び電気代は別途徴収

iPhone アプリ開発人材の交流会「iPhone サロン」の開催

iPhone アプリ開発関係者の交流を通じ、より魅力のあるアプリの開発を図るため、iPhone フロアにおいて、情報交換会を定期的に開催。

(第1回)10/1(木) 18:00～21:00 以降毎週木曜日開催。

高度なアプリ開発講座「iPhone レクチャー・シリーズ」の開催

国内外の第一線で活躍するアプリケーション開発者や研究者などによる先進的セミナーや、岐阜県独自の特色ある高度なアプリケーション開発関連講座を開催。

2 iPhone プロジェクトに至る本県の動き

ステージ1 ～世界に先駆けてアプリ開発の取組をスタート～

- ・国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)において、iPhone アプリ開発の権威として全国から注目される赤松正行教授を中心に、2008年4月から勉強会を実施。
- ・2008年10月に「頓智・(株)(トンチドット)」、「(株)FEYNMAN(ファインマン)」のべ

ンチャー企業 2 社が赤松教授の技術支援を求め、ドリームコアに進出。

- ・今年 7 月、電算システム(株)が iPhone アプリ開発事業に参入。第 1 弾として「ピアノ演奏アプリ」を販売開始。

ステージ 2 ~ 県内からアプリの大ヒット作品を輩出 ~

- ・IAMAS で実施している「iPhone 勉強会」に参加した電算システム(株)社員が開発した「ピアノ演奏アプリ「Finger Piano」が、世界的に大ヒットし、これまでに約 20 万本を売上げ、一躍脚光を浴びる。また、昨年末にソフトバンク社の CM で使用され、代表的な iPhone アプリとしても認知されている。
- ・今年 2 月、ドリームコア入居企業である頓智・(株) (トンチドット) が「セカイカメラ」を国内発表。5 月にはアメリカで歴史と影響力のある起業家イベント TiEcon にて、世界中の 1,200 社もの応募の中から、トップ 50 社に選定されるなど、発売前にもかかわらず注目を集める。

<セカイカメラとは>

- ・ドリームコア入居企業である「頓智・」が開発中の「電子メガネ」的アプリ
- ・iPhone の GPS 機能により位置情報を取得。画面上にその場所にある情報を表示
- ・自らも写真を撮って、コメントとともに情報として書き残すことが可能であり、書き残した情報は「その場所」で誰でもセカイカメラを使用すれば閲覧可能
- ・観光看板や店舗紹介、道案内など様々な活用方法が想定される



ステージ 3 ~ 県として、全国に先駆け iPhone アプリ開発支援を開始 ~

- ・今年 7 月にドリームコア内に iPhone アプリの開発体験・活用拠点である「DREAMCORE COLLECTIVE」をオープン。
- ・8 月に「iPhone 塾」を正式開講。
東京、京都など県外からの参加者を含め、現在まで受講者延べ 80 人、視察者延べ 100 人以上。10 月開講分まで満席のため、追加開講の要望が多数寄せられている。
- ・Apple 関係専門誌の「Mac People」が「DREAMCORE COLLECTIVE」「iPhone 塾」のオープンを紹介し、「iPhone 用ソフトの開発を県が支援するのは全国初」と紹介。

3 iPhone プロジェクトの今後の展開

iPhone アプリケーション開発を行う人材の集積に加え、ソフトバンクテレコム(株)の協力も得ながら、iPhone の体験、活用、世界展開の 3 つの側面から、県内各地でプロジェクトを展開する。

- (1) 触れてみよう iPhone (県民に対する iPhone 体験機会の提供)
 - ・「iPhone 塾セミナー in 高山」(高山市、9 月 17 日 (木) 13:30 ~ 16:00)
 - ・「iPhone 塾トークショー in シティ・タワー43」(岐阜市、10 月以降毎月開催予定)
 - ・「DREAMCORE COLLECTIVE (ドリームコア 1 階)」の一般開放
- (2) 遊んでみよう iPhone (iPhone を活用したイベントの開催)
 - ・「クイズでお散歩」イベント (高山市、10 月下旬より 1 ヶ月程度開催予定)
 - ・「iPhone アプリケーションコンテスト」
 - ・「iPhone コンサート」
- (3) 世界に広げよう iPhone (大規模イベント等における iPhone の活用)
 - ・日中韓観光大臣会合における高山市内視察 (10/17 ~ 21)

「iPhone」とは

(1) 「iPhone」の概要

米国 Apple 社（日本ではソフトバンクモバイル(株)が販売代理）の携帯端末で、タッチパネルで操作できることが特徴。電話、メール、インターネット、GPS、カメラなどの基本機能に加え、ネット上で簡単にアプリケーションソフトをダウンロードできることで、様々な機能の追加が可能。

(2) 「iPhone」の販売動向

iPhone は、世界 77 カ国で販売されており、2 年あまりで世界で 3,000 万台以上が出荷。同じくアプリケーションが動作する携帯音楽プレーヤー「iPod Touch」を含めるとこれまでに全世界で 5,000 万台以上が出荷されている。

日本国内では、2008 年 6 月に初めて発売されたのに続き、今年 6 月には第三世代の機種が発売されたが、予想を上回る売り上げのため全国的に品不足となっている。

(3) 「iPhone アプリケーション」

iPhone 及び iPod Touch で動作するアプリケーションソフトで、ショッピングやゲーム、タウン情報、旅行情報はもとより、ビジネス、教育など幅広い分野で開発が進んでいる。

販売・流通は、Apple 社サイト上の「App Store」で一元化されており、すでに 7 万本以上が流通し、ダウンロード数はこの 1 年あまりで全世界合計 18 億回を突破するなど、世界的に市場拡大が進んでいる。

(4) 「iPhone」の可能性

iPhone は、個人用としてだけでなく、企業運営の中心的システムや製造業の基幹システムへの応用など、その利用範囲は広がる可能性を秘めており、地域 IT 企業のみならず地域製造業への事業展開なども注目されている。

